



ロシアはウクライナへの侵略をやめよ!

日本共産党
東京都北区議員団

ウクライナを救え!
プーチン・ロシアは戦争をやめよ!
核兵器使用は絶対に許さない!
日本共産党

平和都市宣言

真の平和と安全を実現することは、私たちの願っているとともに、人類共通の悲願であります。私たちは、日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念に基づき、平和で自由な共同社会の実現に向けて努力しています。人間のぬくもりを感じるふるさと、美しい自然をこれから生まれ育つ子ども達に伝えることは、私たちに課せられた大きな責務であります。私たちは、わが国が非核三原則を堅持することを求めるとともに、心から世界の恒久平和と永遠の繁栄を願いつつ、ここに北区が平和都市であることを宣言します。

昭和六十一年三月十五日

東京都北区

3月27日、日本共産党北区議員団は赤羽駅東口で、区民のみなさんと、ウクライナ人道支援募金の呼びかけ。寄せられた8万6989円の募金は、国連難民高等弁務官事務所とユニセフを通じ、直ちにウクライナの人々に届けました。

2月22日から3月23日まで開かれた北区議会第1回定例会。3月3日の臨時本会議では「ロシアによるウクライナへの侵略に抗議する決議」を全会一致議決しました。同日には、区長も「抗議声明」を発表。この2つの文書は、「北区平和都市宣言」(左)をふまえた内容です。1872年(明治5年)、赤羽の台地に日本陸軍の火薬庫が設置されると、近衛工兵隊・第一師団や被服廠などがつくられ、「軍都」とされた私たちのまち。1945年に戦争が終わり、平和憲法制定とともに北区は誕生。以後、軍事基地解放で、住宅や学校、赤羽自然観察公園、中央図書館建設などすすめ、「軍都から平和都市北区」の歴史を刻んできました。

北区議会
第1回定例会

新年度予算で住民要望が実現



20年後の北区に向け 区政転換5つの提案

代表質問 のの山 けん

北区は20年後の北区を展望する新しい基本構想を策定中。これまでの北区政の問題点を振り返りつつ、①人口増加に見合った区民施設の整備、②新自由主義を転換し区民の暮らし最優先の区政に、③持続可能で多様性を認め合う北区へ、④街並みと商店街を守り、住民合意で進めるまちづくり、⑤日本国憲法が生きる区政、という区政転換の5つの方向を提案しました。



児相等複合施設 人材確保に全力を

個人質問 さがら としこ

北区初の区立児童相談所が、子ども家庭支援センター、児童発達支援センター、教育総合相談センターとの複合施設として2026年度、旧赤羽台東小跡地に開設予定です。設計事業者は公募で決定へ。子どもの育つ環境に配慮した設計と、人材確保にも全力をあげるよう求めました。

福祉・医療施設へ区独自の特別給付金



山崎 たい子

医療・介護・障害・保育など民間のケア事業所へ慰労金含む区独自の補助。区立の保育園や学校で医療的ケア児へ訪問看護師派遣も始まります。他に、子どもの見守り強化、パートナーシップ宣誓制度、女性へのLINE相談やアウトリーチ支援の拡充、庁舎の再エネ電力導入も。

コミュニティバス新規路線が試験運行へ



ながい ともこ

民間バス路線の廃止で足を奪われた地域住民が、要請・陳情・署名を展開。こうした粘り強い住民運動が、浮間地域へのコミュニティバス新規路線の試験運行を実現させました。



積み立てよりも

暮らし応援を



6日間にわたる予算特別委員会では、北区が示した新年度予算案について審査。日本共産党は大きく3つの理由を示して一般会計予算案に反対し、さらに暮らしを応援する予算とするための組み替え動議を提案しました。

十条駅周辺では、再開発や大型道路建設が進められています。住民の立ち退き、大規模商業施設の進出で、既存商店街の存続にも大きな影響を及ぼします。住民の生活と商店街を守るため、住民合意のまちづくりが必要です。



野口 まさと

第1の理由

特別区税、特別区交付金などの大幅な増収を見込み、当初としては過去最大規模となる予算案の中で、新型コロナ対策や、コロナ禍によって影響を受ける区民、事業者への支援が不十分にとどまっていること

過去最高の
予算規模
なのに…



積み立て
(貯金)に
70億円*

30億 施設建設
20億 まちづくり
20億 学校改築

*年度末と新年度の合計

第2の理由

コロナ禍の下、貧困と格差を広げてきた新自由主義の弊害を直視せず、経営改革の名で行革路線に固執する姿勢

●職員削減・外部化・受益者負担の行革路線で、保健所や学校を統廃合、官製ワーキングプアが拡大

第3の理由

民間企業と一体に超高層マンションを呼び込む駅前開発や大型道路建設など、住民合意に欠けるまちづくりの姿勢

●タワマン誘致の駅前再開発で既存商店街や学校の教育環境に影響が。特定整備路線では3つの住民裁判も

日本共産党と新社会党が共同で 予算組み替え提案

最終本会議で、日本共産党北区議員団と新社会党が共同で一般会計予算の組み替えを求める動議を提出。財政調整基金の活用と、まちづくり基金の積み立てを減額し、総額 28 億円を活用する提案です (囲み参照)。

賛成討論に立った福田光一議員 (新社) は、「提案の 28 億円は、使って終わりではありません。このお金を消費に使うことによって、地域商店街を中心に、地域におカネが回ってゆくんです」と提案の意義を強調しました。

動議は自民、公明などの反対で否決されましたが、引き続き、区民生活を直接応援する施策の実現をめざしてゆきます。



せいの 恵子

「コロナで仕事が出来なくなり、私が本当に大変だったとき、一番力になってくれたのは、行政の支援でした。支援がなければ、今の私はいません」、「税金を納めるばかり。教育費や住宅費の負担も大きい。子どもには公平に給付してほしい」という区民の声を紹介しながら、予算組み替え提案への賛成討論をおこないました。

1. 新型コロナウイルス感染症対策

- 無料PCR検査体制の拡充 2億円
- ケア労働従事者への慰労金 3億5000万円

2. 暮らしへの支援

- 低所得世帯への臨時特別給付金 7億5000万円
- 全ての子どもを対象に臨時特別給付金 10億円
- 国保料18歳までの均等割5割減額手当 8000万円
- 学校給食費の半額化を第1子から 2億円
- 低所得世帯への大学入学準備支援金 5000万円
- 補聴器補助制度の創設 5000万円
- 会計年度任用職員への期末手当補填 2000万円

3. 営業への支援

- プレミアム付共通商品券の追加発行 5500万円
- 中小事業者への支援金支給 4500万円

都立・公社病院を守りぬこう



本田 正則

コロナ禍の下、都民の命を守る先頭に立ってきた病院を独立行政法人化することは許されません。独法化の撤回を求めてゆきます。

子どもの国保料減免が実現



福島 宏紀

子どもの国保料均等割の減額を繰り返し求めてきましたが、このたび未就学児の半額減免が実現。さらなる拡充を求めます。

補聴器助成 15 区 1 市で実施



宇都宮 章

新年度は港区が相談からアフターケアまで。三鷹市では18歳以上を対象に。北区でも一刻も早く実現をと求め続けます。

困りごとがあれば、ためらわず相談を

日本共産党北区議員団 北区役所控室
TEL 3908-7144 FAX 5993-0280

宇都宮 章 さがらとしこ せいの 恵子 ながいともこ 野口 まさと のの山 けん 福島 宏紀 本田 正則 山崎 たい子
神谷3-10-8-401 赤羽北3-23-17 滝野川3-56-7 浮間3-1-54-302 東十条5-16-10 岩淵町22-31-401 豊島5-4-1-615 田端3-4-12-305 豊島7-19-10
090-4127-7550 3905-0970(事務所) 070-3531-0812 080-4429-6338 070-5658-0603 090-2156-3510 090-1206-6925 090-9240-8066 090-2160-1292